

STEP



～自律・挑戦・対話の意志を持って主体的に生きよう～

2026. 5. 29

5月は、部活動の春季大会、バス遠足、中間テストと、たくさんの行事がありました。特にバス遠足では、能登方面に出かけ、震災による被害や復興の様子を現地で学習することができました。これらをもとに、今後の総会で自分たちの住む地域の防災・減災について考えていきましょう。

また、6月は部活動の加賀地区大会があります。3年生ともに、全力を出せるよう頑張ってください。

- 3日(水) 内科検診(14:00～) 6限日程(木1+水曜5限)
- 4日(木) 5限授業日
- 10日(水) 激励会(5限)
- 12日(金) 尿検査(二次)
- 13日(土) 加賀地区大会(バスケットボール・野球)(～14日)
- 17日(水) 一斉委員会
- 20日(土) 加賀地区大会予備日(バレーボール・テニス・卓球・野球)(～21日)
- 23日(火) テスト前部活動休止期間(～30日)
- 24日(水) 歓迎会(5限)
- 30日(火) 期末テスト

6月の予定

5月22日
のとじま水族館
和倉温泉街

バス遠足を終えて

僕は、この震災学習を通して、能登半島地震がどれだけひどかったかを改めて感じることができました。地震が発生した時、自分の身を一番にせず、お客様を最優先したのがさすがだと思います。地震が起こった後もどうすれば再開できるかを考えていて、自分たちで水槽の壊れているところを探して協力をしていたのがすごいと思いました。そして、次に起こる震災のために、今回の震災を通して分かったことを生かして、これからも頑張りたいです。

能登のみなさんが後ろを向かず前を向いているのがすごいと思いました。(KR)

バス遠足で、まずのとじま水族館へ行きました。震災が起きた時の様子を、館内の展示や講話から詳しく知ることができました。震災が起きた直後は、水槽が割れていたり、ポンプやろ過装置などの機械類がこわれていたりしたそうです。展示されていた写真からは、当時の悲惨さがひしひしと伝わってきました。今は活気を取り戻して、海の動物たちが生き生きとしている様子を見て、復興のためにしっかり前を向いているんだと思いました。

次に和倉温泉へ行きました。到着します目に入ってきたのは、仮設商店でした。もう震災から2年たったのに、元のお店に戻れていない人がいることに驚きました。ある旅館が無くなってしまったことはとても寂しいと思いました。街中には、段差のある場所や、まだ液状化が残っている所など、全然復興していない所ばかりでした。私は、和倉温泉が活気を取り戻して、早く元の温泉街に戻って欲しいと思います。そのために、私が復興のために出来ることは何か、もう一度考える必要があると思いました。(KC)

僕は、のとじま水族館の人が話していた「とても地震がひどかったですけども、再度のとじま水族館にお客様が来てくれるのがとても嬉しいです。」という言葉聞いて僕はびっくりしました。なぜなら、僕は昔行ったのとじま水族館と一緒にだと思って楽しんでいたので。話を聞くと、地震の大きな被害が及んでいて、魚が約4000匹死んでしまったらしいです。以前と変わらないと僕が思ったということは、それだけたくさんの人がたくさん頑張ったからなんだと思いました。この遠足を通して、僕は礼儀と相手を思いやる気持ちの大切さをより強く学ぶことができました。(NT)



今回の遠足を通して、改めて地震の大きさやそれによる大きな影響を実感できました。水族館の方の話を聞いて、思ったよりも被害が大きくてびっくりしたし、たくさんの動物がなくなったと聞いて、とても悲しくなりました。最後に「助け合いが大切」、次に生かせる対策として「事前にどう行動するか、話し合っている」と教えてくださったので、参考にしたいです。

和倉温泉ガイドプログラムでは、ガイドさんの話を聞いたり、実際の被害の様子を見ることができました。護岸のために周辺の旅館が解体される話を聞いて、悲しくなりました。また、なぜ旅館ができる前に護岸整備をしなかったんだらうという疑問も浮かびました。そして実際に能登の現状を見て、2年も経ったのに、まだまだ復興しなければならない場所がたくさんあることを改めて感じました。(HM)

加賀屋の建物が壊されているところを見て、建物ってこんなに簡単に崩れるのか、地震ってすごいと感じた。自分の行ったことのある和倉温泉は活気があって自動車もいっぱい走っていて、出勤前の従業員さんが歩いているという感じだった。今回の遠足で聞こえてきたのは解体工事の音と、たまに来る自動車の音、工事している人という静かで寂しい感じがした。しかし、人の温かさは変わっていないと思った。地震があったとき、旅館の従業員さんが布団とか食料を持って宿泊客と和倉小学校に避難させたという話を聞いて、「おもてなしの心」ってこういうことかと思った。とてもいいところなのに、何も悪いことをしていないのに、地震が起きてしまうのは残酷だと思った。片山津も同じ温泉街なので、防災の観点で和倉に学ぶことがいっぱいあるなと思った。

水族館では、日本の中のつながりを感じた。動物を各地の施設に避難させたり、クラウドファンディングで支援してもらったり、人と人が助け合って復興していくんだと思った。(MK)

この遠足を通して学んだことはたくさんあります。のとじま水族館では、震災当時の被害のことを聞き、辛く感じました。またその中で亡くなってしまった生き物がいたので、地震がどれだけ恐ろしいかを実感しました。また能登島に行く途中に崖が崩れているのを見て、ゾッとしました。和倉温泉では旅館の解体が進んでいて、建ってからあまり年月が経っていないのに関わらず、解体するものもあり、残念に思いました。また一番驚いたことは加賀屋の建物にひびが入っていて瓦が落ちていた光景です。地震がどれだけ恐ろしいかを知ることができました。この体験をこれからも生かしていきたいです。(KT)



good behavior (遠足編)

★バス遠足に向けて、ルールぎめ、しおり作りをリーダー会が行ってくれました。昼休みに集まって考えてくれましたね。事前集会での説明や、遠足当日は、のとじま水族館でのあいさつや和倉温泉での黙とうなど、たくさんの役割をしてくれました。おかげで、みんなが安心して遠足に向かうことができました。ありがとう！

★遠足では自分たちで声をかけ合い、時間を守った行動ができました。みんなすばらしい！